

# 道 教 組

▶ DOKYOSO NEWS vol.492



## 夏までの重要なとりくみ

今、教育委員会があぶない!

教育委員会の民主的改革こそ重要です

教職員がつくる 教職員のための共済

旭川教育集会「語り合おう 子育て・教育・学校」を開催

わたしのとっておき

# 夏までの重要なとりくみ

組合活動も新年度が始まりました。この夏までの重要なとりくみを整理しましたので確認しましょう。

- (1)「教育委員会制度改悪」を許さないとりくみ
- (2)「えがお署名」のとりくみ
- (3)「給与制度の総合的見直し」を許さないとりくみ

## (1)「教育委員会制度改悪」を許さないとりくみ

大津いじめ事件での教育委員会の不適切な対応を法改正の根拠に、3月に自民党と公明党が「改正案」に合意、その後閣議決定され、4月4日には国会に上程、15日からは衆議院で審議が始まりました。

では、本当に現行の教育委員会制度を変えることが子ども・教育のためになるのでしょうか。この「改正案」の問題点を整理すると、

①教育長と教育委員長を統合した新「教育長」は今よりも権限が強くなる、②新「教育長」は首長（知事や市町村長）が議会の同意を得て任命・罷免し、任期は3年とする、③新たに首長が主宰する「総合教育会議」が設置され、「大綱の方針」を教育委員会との協議・調整のうえ、首長が決定する、などを特徴としています。つまり、首長の意向で教育が政治的に決定される仕組みとなり、歯止めをかけることができなくなるということです。（詳細は次の記事で）

全教は衆議院の文教委員会や地方公聴会（仙台市と福岡市で開催）など、あらゆる機会に傍聴行動を行い、この「改正案」についての問題点を明らかにして街頭宣伝もしてきました。あわせて、「地方教育行政法の『改正』に反対する請願署名」にとりくんでいます。期日が迫っていますので、大至急とりくみを広げましょう。

○第1次集約：5月2日(金)、最終：5月27日(火)

## (2)「えがお署名」のとりくみ

安倍政権になって、国の責任による「35人以

下学級」の拡充は見送られ、教職員定数は1959年以来初の減（前年度比－10人）となりました。そこで、2015年度政府予算にかかわる文科省概算要求に対する要求署名（えがお署名）のとりくみは、ますます重要になっています。

- 集約目標：全国20万筆  
道教組2,600筆以上
- 集約日：5月30日(金)、6月27日(金)、  
7月15日(火)【道教組集約日】
- 文科省提出日：7月25日(金)  
中央行動で提出

## (3)「給与制度の総合的見直し」を許さないとりくみ

この「給与制度の総合的見直し」は、人事院が主張する地域間及び世代間の「配分の見直し」などではなく、高齢層の賃金抑制を全面に掲げた公務労働者の総人件費削減と賃金・処遇への人事評価制度の活用などにあります。職場を基礎に管理職を含めたすべての教職員を対象にした「給与制度の総合的見直し」反対のとりくみを行います。

- 政府・人事院に対する要求署名（5月～6月）  
※届き次第送付します。
  - ・討議資料を活用し、学習から意思統一を行う。
  - ・「えがお署名」と結んでとりくむ。
- 地方から中央への要請包囲網の構築
  - ・地域国公と共同してとりくむ。
  - ・道当局、道および地方議会、道および地方教育委員会、道人事委員会などへの要請を通して、地方から政府・人事院を包囲する。

以上、3つのとりくみが当面夏までの重点になります。みんなでとりくみの輪を広げましょう。

# 今、教育委員会があぶない！

## 教育委員会の民主的改革こそ重要です

いま、教育委員会制度について国会に悪法が提出され、激論が交わされています。

衆議院で審議入りした教育委員会制度の改悪法案(地方行政教育法改悪案)。本来政治から独立し、民主的制度である教育委員会を再生するのか、首長の言いなりの教育委員会にするのか、2つの流れの対決が鮮明になっています。

### 教育長を首長の言いなりにする自民・公明の「地方行政教育法改悪案」

教育委員会を従来通り執行機関に位置付けるものの、教育長と教育委員長を一本化した新「教育長」をつくります。そして、首長はその新教育長を任命・罷免できる権限を持つのです。

教育委員会の権限を大幅に限定し、首長が実権を持つ内容で、安倍政権の歴史観や露骨な競争教育を押し付けるための布石であり、非常に危険な法案といえます。

### とんでもない！教育委員会をなくしたい 民主・維新も暴走

一方、教育委員会の廃止法案を共同提出した民主・維新両党は、教育委員会を廃止し首長に権限を一元化するよう政府にけしかけています。戦後の教育委員会制度を真っ向から否定し、政府と改悪を競う暴走ぶりです。

### 住民代表の教育委員の存在を生かし、教育委員会の機能と役割を強化すること

国会論戦で悪法にはっきり反対し、教育委員会の再生をめざしているのが日本共産党です。

教育委員会を首長の下に置けば不当な政治介入を止めることができません。戦後の教育委員会制度は、公選された教育委員が保護者や住民の意見をききながらその自治体の教育の在り方を決めるという民主的な制度として出発しました。

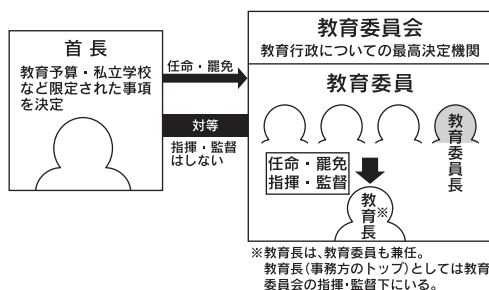


衆議院の国会行動で説明する宮本岳志議員

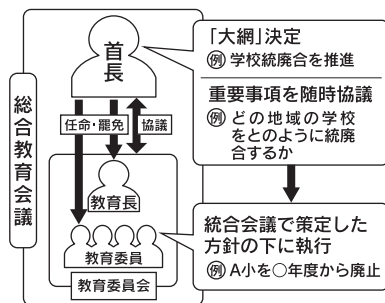
しかし、政権により教育委員会の形骸化が進み、事務局が実権を握り硬直・閉鎖的な体質になってきたのです。

今の教育委員会は少なからず問題を抱えています。今必要なのは、事務局をチェックする住民代表の教育委員の存在をいかすことで、教育委員会の機能と役割を強める方向の改革です。

#### 現行制度



#### 自公「改革」案 教育委員会が首長の下請けに！



# 大きな構えで仲間づくりを！

## ▶ 困難なときだからこそ、語り合おう

新学期がスタートして1ヶ月が経ちました。異動により職員の顔ぶれも新たに、そして何よりも新しい子どもたちとのスタートに、みなさんは期待に胸をふくらませているのではないのでしょうか。

私たち道教組も、3月の定期大会を経て新年度の方針を確かめました。政治の影響により、「全国学力・学習状況調査」の順位向上に重点が置かれ、チャレンジテスト活用の押しつけや体力・学校力向上も求められています。いま、学校現場では目の前の子どもたちにふさわしい、自由に創造的な教育実践をすることが困難になってきています。

しかし私たちは、厳しい状況下だからこそ、目の前の子どもに寄り添い、保護者や同僚と「子ども（教育）論議」を意図的にすすめなくては元氣が出ません。超多忙な毎日ですが、思いを言葉にし、身近な人と語り合わなければ、日々の辛さや本来私たちが求めている教職員としての喜びを共有できないでしょう。そこには「愚痴」も出るでしょうが、「愚痴も束ねれば要求になる」という言葉があります。まさしくそれは激励の言葉とも受け取ることができます。

## ▶ 「つながりづくりのための5,000円」や「集いあい促進費」を活用しましょう！

道教組では、道教組共済会の援助を受け、加入促進費の活用として「つながりづくりのための5,000円」事業を推進してきました。これは、まだ組合や共済（全教共済）に加入していない教職員を対象に、楽しい行事（創造的に、種類に制限なし）や交流会、学習会を企画し、組合や共済の紹介・勧誘をよびかけることを組み込んでいけば、「加入」という成果を問わず、文字通り「つながり」をつくることができれば支給します。大いに活用しましょう。

また、今年度から全教共済からも、同様な趣旨でとりくまれた行事・企画に対し、加入促進費と

して財政支援（「集いあい促進費」）が行われることになりました。所定の申請書で事後報告していただければOKです。組合員の人数に応じて、各単組・連絡会だけでなく、各専門部でのとりくみにも支給することを、4月の単組代表者会議で確認しました。こちらの活用も積極的にすすめていきたいと思えます。

## ▶ なかまづくりは、今が大事

道教組は、3月から5月を「なかまづくり（組織拡大・強化）強化月間」として、他管異動者はもちろんのこと、新採用者や過年度者、再任用者など、すべての教職員を対象に「組合と共済加入」を一体的によびかけています。この3月に全面改訂しました「道教組パンフ（道産子の瞳輝く豊かな学び学ぶ喜びを）」や「全教パンフ（あなたも組合へ 学び、つながり、行動する明日へジャンプ）」、『クレスコ』4月号などの加入促進グッズを活用して道教組構成組織（10単組3連絡会）すべてで対話活動を重視し、つながりづくりを広げましょう。悩みや喜びを語り合える関係を築き、すべての組織で新しい仲間を増やしましょう。

6月の単組代表者会議（6/21）までを1つの区切りとして、全道での奮闘をよびかけます！

今年の目標は、対話700名、拡大70名です！



# 若い先生への メッセージ



今年、北海道の教職員になられたみなさんへ、先輩教師からのメッセージを贈ります。忙しい毎日でしょうが、読んでもらえたら幸いです。

全釧路教組 千葉あゆみ

生きているということ  
いま生きているということ  
勉強をするということ  
何のために勉強する？  
答えはすぐには見つからず  
いつしか  
そんなことを考えていたことも忘れて  
夜中まで 鉛筆を走らせるということ  
答えはとりあえず保留のまま  
「今日は、今日できることをやろう」と  
机に向かうということ  
そうして 星空を見上げるということ



そこに答えがあるような気がして  
昨日のわたし 一昨日のわたし  
一昨日のわたし・・・・・・・・

ただそこにいたのは「今日」を生きるわたし  
決戦の日に向かって ただ「今」に一生懸命  
そうして 今日  
朝日の美しさに 鉛筆がとまる

生きているということ  
いま生きているということ  
勉強をするということ  
何のために勉強する？  
いつかの問いかけが、またふっと頭をよぎる  
何のために勉強した？  
机に向かった日々が  
わたしの「何」を変えただろう

生きているということ  
いま生きているということ  
それは「今」を見つめるということ  
そのために「過去」に目を向けるということ  
そうして「未来」の自分を思い描くということ

昨日から今日、今日から明日、  
少しずつ大きくなっていく自分を感じたい。  
もう少し もう少し

昨日から今日、今日から明日、そうして・・・・・・  
チョークを持つその手に 未知なる可能性

## 道教組各単組・連絡会の委員長・書記長紹介

単組・連絡会名	委員長	書記長	電話番号
網走教職員組合	大坪 哲也	和田 朗	0157-31-7551
全釧路教職員組合	中野 裕晴	古川 晃男	0154-51-0476
全渡島教職員組合	塩田 龍男	山口 英樹	0138-42-7422
全上川教職員組合	中村 賢明	鶴野 聖志	0166-35-5453
宗谷教職員組合	高 一申 (委員長代行)	内藤 修司	0162-22-2480
空知教職員組合	川村 安浩	関屋 元	0126-24-9419

単組・連絡会名	委員長	書記長	電話番号
根室教職員組合	中山 裕一	齋藤 健二	0153-24-5905
檜山教職員組合	石橋 英敏	中山 晴生	0139-52-0858
全石狩札幌教職員組合	秋山みゆき	佐々木一次	011-742-0103
全胆振教職員組合	高橋 勇	白鳥 克己	0144-87-6222
道教組後志連絡会	代表 平山 純		0136-44-3192
道教組十勝連絡会	代表 霜野 勝彦		0155-62-8854
道教組日高連絡会	代表 國保いずみ		0146-47-5270

# 教職員がつくる 教職員のための共済

全教共済は全教（全日本教職員組合）が教職員とその家族に福利厚生向上のための共済として24年前に設立されました。各種共済に寄せられた加入者の声を中心に全教共済について、お知らせします。



## 道教組共済会

### 《総合共済》

月々600円（年額7,200円）で、お祝いがいっぱい！

- \* 結婚 10,000円
- \* 結婚記念日、クリスタル 20,000円
- \* 出産 5,000円

- ◆お祝い金、うれしいです。自分の掛金も誰かの喜びになっているかと思うと、それもうれしい。  
(北海道)
- ◆退職にもなっても総合共済の掛金が、全額戻ってきました。臨時収入でありがたいです。今まで、結婚記念日や親死亡で、給付してもらいました。今後も後輩たちに、全教共済のよさを声かけしていきたいです。  
(群馬)

### 《災害見舞金 5,000円》

- ◆9月の台風災害で通勤経路が3ヶ月の長さにわたり、交通止め区間が10km程あったため、異なる道を遠回りして通勤していました。助け合いの総合共済に加入していたために、お見舞い金をいただきました。  
(京都)

### 《火災共済》

- ◆竜巻の被害に遭いました。すぐ火災共済のことが頭にうかばなかったのですが、職場の共済お世話の方から、自然災害でも給付されると教えられ、本当に助かりました。  
(埼玉)



### 《生命医療傷害共済》

- ◆生命共済 死亡給付 1口100万円 後遺障害給付 人間ドック補助（61歳以上）
- ◆医療共済 入院1日目から給付 先進医療特約（8月から） 手術見舞金（8月から算出方法改訂） ケガ特約で通院給付 文書料補助（8月より5千円+消費税実費）
- ◆傷害共済 交通事故型 ファミリー型
- ◆夫の28日間入院で、医療給付を受けました。病院からの診断書も必要がなく、手続きが簡単でした。他の保険会社は、病院からの診断書が必要で、高い文書を払いました。全教の医療共済のよさを感じています。  
(広島)

### 《教職員賠償責任共済》

本来、教職員の皆様が、公務中に起きた事故や事件に対し、責任を負う状況の場合に役立つ教職員賠償責任共済です。

昨年8月より、民間保険に委託しないことで、大きく制度が変更することができました。自主共済に「困っている教職員を、一人にしない」で、組合・共済・弁護士等による相談活動からできるようになりました。

- ◆退職しますが、賠償共済に加入し、安心のある教育実践ができました。あの時、加入した先生も、同じ気持ちだと思います。  
(北海道)

道教委により「君が代」の歌唱指導の強制が強まり、卒業式で子どもを主人公にしたフロア形式にも変更を求められています。

そのような状況下、4月5日(土)に「語り合おう 子育て・教育・学校」を開催し、25名が参加しました。今回のテーマは、「卒業式・入学式は誰のものか・・・」。全上川教組、高教組旭川支部が主催し、一般参加者の他に、私教組、新婦人、旭川市議にも参加していただきました。

集会では、現場での具体的な状況や今の学校の様子をどう感じているのかなど、意見や感想が交流でき、大変有意義でした。

## 《参加者からの意見》

- ・若い先生方には、(国旗・国歌の強制を)受け入れるのが当然という思いがあるのでは？
- ・校長や教頭から言われたら、やらなくてはいけないという考えがある。
- ・それがどういうことなのか、考えることがない。職場の先生たちと語り合うことが少ない(現職)
- ・孫に小学3年生の子がいる。毎日5時間、6時

間の勉強で大変そうだ。学校がつまらなそうに見える。ドリルやテストなどのプリントを毎日のように持ち帰り、学校現場は点数を上げることに躍起になっているように思える。(OB)

- ・卒業式、入学式でフロアを使っていたものが、ステージ形式にかえられていく。子どもたちを主人公にした形式だと思うのだがなぜかえなければならないのか。(現職)
- ・子どもたちは実際どう感じているのだろうか。学校は面白くないところになっているのか、子どもたちの自己肯定感はどうなのか、子どもたちの今を聞きたい。(OB)

そして、次回開催をめぐって集会を終えることができました。



## 編集後記

4月に沖縄を訪れ、沖縄県平和祈念資料館でしっかり学習することができました。アメリカ軍は1945年3月、総勢54万の兵力を投入し、地形が変わるほどの猛烈な艦砲射撃を行った後、読谷(よみたん)海岸から沖縄上陸作戦を行いました。一方、日本軍は約11万6千人いましたが上陸作戦にほとんど反撃もできないまま南北に分かれて撤退が始まるのです。その結果、日米合わせて約20万人の尊い命が失われ、その中には、約9万4千人の一般住民犠牲者も含まれています。私の親戚も沖縄で戦死したので、糸満市平和公園

にある「平和の礎(いしじ)」を訪れ、刻まれている犠牲者の名前の中から親戚の名前を見つけ、改めて冥福を祈ってきました。

日本による侵略戦争によりアジアでは約2千万人以上、日本は約310万以上の犠牲者を出した人類史上まれな戦争だったのです。日本の国民全体、特に政治家は侵略戦争に対する深い反省と、アジア諸国に対する哀悼の意が示せないとなれば、世界中で異端児扱いになるしかありません。侵略戦争や従軍慰安婦を否定し、「戦争できる国」をめざす安倍政権には猛省を求めます。(新保)

# わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



## 「完成した時の達成感」

子どもじみていると思われるかも知れませんが、プラモデルを作るのが好きです。一つひとつパーツを磨き、うまく組み上がると気分のいいものです。暇を見つけながらなので、完成まで2年かかった物も。妻には理解されませんが…。

【古川 晃男(釧路町富原小学校)】



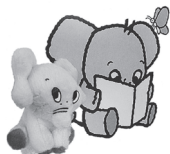
## 「休日の読書は至福の時間」

最近暇があると、直接は教育とは関係のない本を読んでいます。「なぜ男は女より早く死ぬのか」「働かないアリに意義がある」「脳内麻薬」など。いろいろな新しい発見があり、休日などに読みふけている時間は幸せです。

【山口 幸紀(釧路市中央小学校)】

# 全教自動車保険

## 平成26年1月より大口割引5%導入のお知らせ



小納谷部長  
(川上企画)



この4月、北海道の教職員としてスタートしたみなさん、全教自動車保険は、教職員のために民間保険よりも充実した自動車保険として信頼を上げてきました。是非この機会に川上企画にご相談ください。

提携 東京海上日動火災  
保険株式会社

### 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継ぎます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

自動車保険、マスト、がん保険の問い合わせ先  
有限会社 **川上企画** (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウェスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2014年5月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 西野 誠 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>